

## 日本機械学会 関東支部シニア会 2022 年度総会開催報告

1. 日時：2023 年 1 月 20 日（金）15:00～17:00（特別講演会含む）
2. 場所：Zoom による遠隔開催
3. 参加者 38 名
4. 実施内容

### （1）シニア会総会議事（司会 高屋幹事）

#### ①定足数確認

議事開始に先立ち、高屋幹事より、本総会議事に対して不信任の意思を示すメール連絡がなく、総会として成立する旨の連絡があった。

#### ②2021 年度の事業報告と決算報告の説明

鳥毛会長より資料に基づき 2022 年度の事業報告と決算報告についての説明があった。エンジニア塾開校は「対面式+Web 方式」で実施したが、その他行事は遠隔開催となり、今年度も COVID-19 の影響で見学会など対面式で行う行事が中止となった。また、各種行事も遠隔で行ったため、支出が予算より大幅減となった。余剰金は支部へ返金する。

#### ③2023 年度の体制と事業計画案の説明

鳥毛会長より資料に基づき 2023 年度の体制と事業計画案案についての説明があった。シニア会運営体制は、2022 年度と同じ体制で行う。但し、本年度の反省を踏まえて担当分担は見直す。

行事においては、with コロナの活動として、対面式+Web 方式等柔軟に対応する。

#### ④2022 年度の事業報告・決算報告と 2023 年度の体制と事業計画案の承認

参加者の拍手で承認された。

[参加者意見] 会員数が昨年度より減少に対する対応を考えて頂きたい。現在対応を検討中です。


### （2）特別講演会（司会 中山顧問）

演題目：「経済の眼を通して見る日本の機械産業」

講演者：元中央大学・立教大学兼任講師 近藤 正彦 様

講演概要：

日本の機械産業の過去・現在・将来について生産・設備投資・輸出の側面から眺めてみる。それらの動きの背景にはどんな要因があったのだろうか、あるのだろうか、それを経済の眼を通して考えてみる。

<p><b>経済の眼を通して見る日本の機械産業</b></p> <p>2023年1月20日 元中央大学・立教大学兼任講師 <b>近藤 正彦</b></p>	<p>はじめに(1/2)</p> <p>コロナ禍以来、機械産業は変わりつつある。生産面では設備投資関連の生産用機械の生産が大きく伸びている。特に半導体製造装置の生産が半導体需要の急拡大の波を受けて大きく伸び、生産用機械の生産を押し上げている。設備投資関連では2022年度の投資額は前年度を大きく上回り、中でも機械（生産用機械、汎用機械）、電気機械の増加率が大きい。この設備投資の好調さは投資循環の上昇の波に支えられているため2023年度、2024年度まで続くと考えられる。輸出は半導体製造装置、建設機械の好調さが目立つ。半導体と半導体製造装置を合わせた半導体関連の輸出は自動車関連（自動車、自動車部品）の3分の2にも達する。EV関連では押出成形機が中国・台湾向けに大きく伸びている。</p>	 <p>近藤正彦(講師)</p>
---	---	---

特別公演中の近藤先生  
(文責 シニア会 高屋真二)